

製品名: LEF1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81602**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	44.2kDa

抗原情報

遺伝子名	LEF1
別名	LEF-1; TCF10; TCF7L3; TCF1ALPHA
遺伝子 ID	51176.0
SwissProt ID	Q9UJU2
免疫原	大腸菌で発現したヒト LEF1 (AA: 33-138) の精製された組み換え断片。

背景

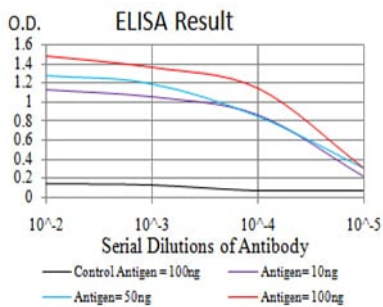
この遺伝子は、高移動度群タンパク質 1 (HMG-1) と相同性を持つタンパク質ファミリーに属する転写因子をコードしています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞受容体 α エンハンサーの機能的に重要な部位に結合し、最大のエンハンサー活性

を付与します。この転写因子は Wnt シグナル伝達経路に関与しており、毛髪細胞の分化および毛包の形態形成に機能すると考えられます。この遺伝子の変異は体細胞性脂腺腫瘍で発見されています。また、この遺伝子はアンドロゲン非依存性前立腺がんを含む他のがんとの関連も指摘されています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。

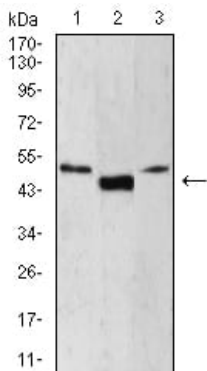
研究分野

Wnt シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

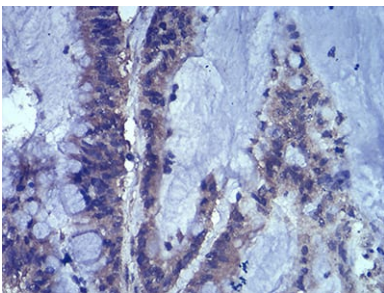
画像データ



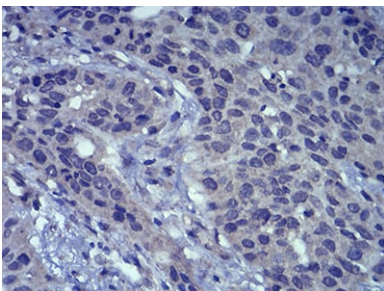
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Jurkat (1)、HepG2 (2)、および MOLT4 (3) 細胞溶解物に対する LEF1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



LEF1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



LEF1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。

